

# 今回だけは共産党を応援する—漁協幹部

## 参院選勝利めざすキャラバンに激励

参院比例代表の、いわぶち友候補と同北海道選挙区の森つねと候補は臨時国会閉会後、参院選必勝をめざす道内キャラバンで「国民連合政府のよびかけとTPP批准反対」を訴えています。

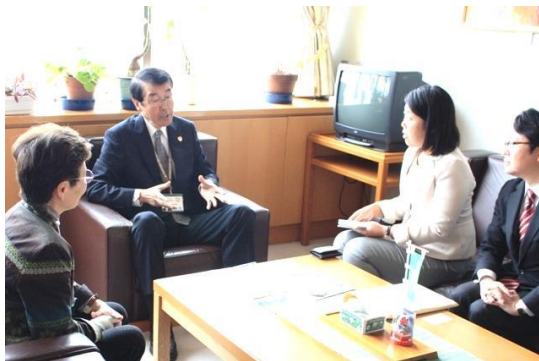
キャラバンは9月21日から27日まで道南・胆振で、10月4日から9日まで日高、後志で行い、首長や農協・魚協との懇談、演説会、「つどい」などを精力的に行いました。

日本共産党が提案した「戦争法廃止のための国民連合政府」の実現をめざし、日本の政治の前途に見える希望の光をさし示しました。浦河町の漁協で「今の安倍政権は危険すぎる。今回だけは共産党を応援させていただきます」と支持が表明されるなど、各地で激励を受けました。



つどいで国民連合政府の実現を訴える森・いわぶち両候補＝5日、新ひだか町

## 国民連合政府で首長と懇談、「つどい」で訴え



池田拓（ひらく）町長（正面）と懇談する、いわぶち・森両氏＝5日、浦河町

2つのキャラバンで、いわぶちさんと森さんは、9人の町長、2人の副町長、8つの団体で懇談を行いました。

「一内閣が解釈で憲法を変えるのはおかしい、改憲するなら表玄関から入るべきで、裏玄関から入るのは泥棒だ」「暴走政治がひどすぎる。お灸をすえる側が受け皿を作って自民党の力をそいでほしい」「立憲主義の否定だ。野党は力を合わせてほしい。これからが本当のたたかいだ」など、懇談の場で次々と戦争法を強行した安倍政権への厳しい批判と、国民連合政府への期待が語られました。

つどいでも「国民連合政府の提案で力が湧いた」と期待の声が続ぎ、参院選必勝の取り組みを本格化させよう、と話し合われていました。

国会周辺の行動に参加していた、いわぶち候補と、命の大切さを訴える森候補の訴えはどこでも大評判でした。

## 「道民の足を守れ」

日本共産党北海道委員会のJR問題対策本部責任者でもある森つねと参院道選挙区候補と、いわぶち友同比例候補は4日、日高線の豊郷—清島間（日高町）の路盤流出現場を現地調査しました。

日高線は今年1月に厚賀—大狩部間（新冠町）で線路脇の土砂流出事故があり、復旧の計画がしめされないまま運休が続いています。森さんは「日高線を荒れるがままにしているJR北海道の責任は重い。国と道は全線復旧に全力をあげるべきだ。道民の足である地方線の切り捨ては許されない」と話しています。

## JR日高線災害事故現場を調査



JR日高線の災害現場を調査する森、いわぶち両氏＝4日、日高町